



宇津木台 森遊会 実施報告

「第9回定例活動」

No.2015-09

実施日	2015年12月27日(日) 9:30~13:30	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 10名(男性8、女性2) 徳田、中野、神宮、岡田、矢島、田原、中村(弘)、鶴田、鈴木(健)、後藤 トーキョーレンジャーズ14名* インストラクター: 金森 *自然環境復元協会レンジャーズプロジェクト		

実施内容

活動5年目の第九回目。年の瀬、晴れて風はほとんど無く、日向は暖かい、動くには快適な条件。一昨年、昨年と同じく、トーキョーレンジャーズ14名が参加、総勢24名の賑やかな活動となった。テニスコート裏の斜面の総仕上げとして、残った雑木の伐採、伐採した木の片づけ、笹刈り、ひこばえの除去、ゴミ拾いを行った。焚火や昼食の料理は準備時間に余裕がないため見送った。

オリンパス駐車場にてオリエンテーションの後、班分け、道具を身に着け現地へ向かう。休憩含めて約1.5時間作業した。斜面エリアは広いにもかかわらず時間ちょうどで片づけを完了した。

トーキョーレンジャーズの参加者は初めての方が多く、鋸の使い方、木を倒す際のポイントなどを森遊会メンバーから聞きながら慎重に作業を進めた。感想では“きつかった”という声も聞かれた。

すっかり明るくなった雑木林にタヌキの“ため糞”を発見、銀杏を食べていることがわかった。

殆どの参加者は、日向で昼食をとる。昼食しながら意見交換、13:30に解散。次回のレンジャーズプロジェクトは2016年2月に予定、内容は竹林の片づけ。



当日の朝に下見をする



伐りっぱなしの木々は葉が枯れ落ち運びやすくなっている



オリエンテーション



作業の様子



レンジャーズ2名、森遊会名1の計3名を班として7班構成で分散して進める



足掛け5年、すっかり明るく綺麗になった雑木林



タヌキのため糞を発見



お疲れさまでした

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は発生なし。